

# 充電ケーブルリール 取付・取扱説明書

- ・この度は充電ケーブルリールをお買い上げいただき、ありがとうございます。
- ・製品取付け前に本説明書をよくお読みの上、正しい取付けを行ってください。
- ・取付は専門の工事業者に依頼してください。
- ・ご使用中に気になる点がある場合は、そのままのご使用は避け、お買い求めの販売店にご相談ください。
- ・この取付・取扱説明書は大切に保管してください。




部品番号

CRN-B

はじめに

## 安全上のご注意

施工、使用(操作、点検)の前に必ずこの説明書とその他の注意書きを全て熟読し、正しくご使用ください。製品の知識、安全の情報および注意事項の全てについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「警告」「注意」として区分してあります。

 <b>危険</b>	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状況を示します。
 <b>警告</b>	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を招く恐れがある危険な状況を示します。
 <b>注意</b>	取扱いを誤った場合に、軽傷または中程度の傷害を招く恐れがある危険な状況および家屋・家財などの損害が発生する恐れがある場合を示します。











●お守り頂く内容を次の図記号で区分しています。

 気をつける	 感電注意
 してはいけない	 分解禁止
 必ず守る	 濡れた手で触らない
	 手や指を入れない

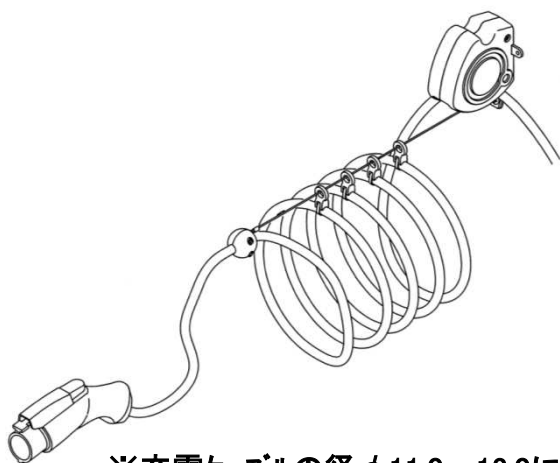
尚、「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。



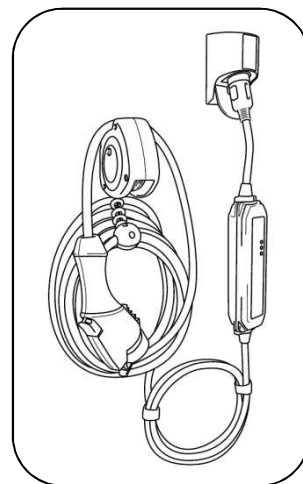
本製品は、既存の充電ケーブルを組み込んで充電操作の使い勝手を向上させるものです。充電ケーブルを常設固定するため、車載充電ケーブルの移動が出来なくなりますのでご注意ください。

 <b>危険</b>		■濡れた手で充電ケーブルやコネクタ電極部及びプラグを触らないでください。感電する恐れがあります。
		
 <b>警告</b>		■製品の分解・改造は絶対に行わないでください。内蔵されたぜんまいばねが飛び出すことがあり、大変危険です。
		■幼児や子供には絶対に触らせないでください。怪我をする恐れがあります。 ■製品の上に乗ったり、もたれかかったり、荷物などを置いたり、引っ掛けたりしないでください。 ■充電ケーブル及びワイヤーを引っ張って寄りかからないでください。充電ケーブルやワイヤーが抜けると転倒する危険があります。
		■リール開口部には手や指を入れないでください。手や指が挟まれると大変危険です。
		■充電コネクタや充電ケーブルに割れや欠けなど異常が発生した場合は、ただちに使用を中止して販売店に連絡してください。
 <b>注意</b>		■海外ではご使用にならないでください。日本国内専用品です。 ■電気自動車の充電以外には使用しないでください。

## 取付完成図

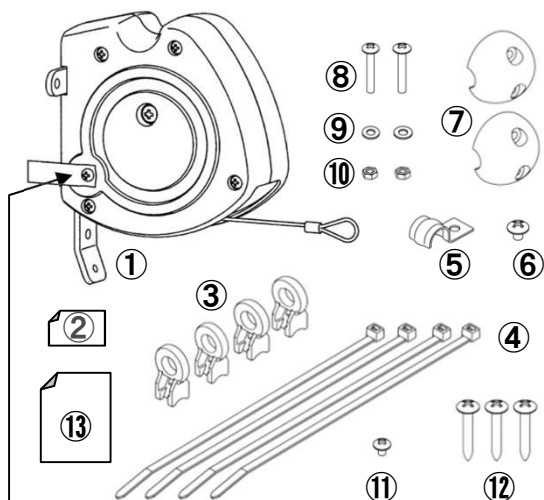


※充電ケーブルの径φ11.0~13.0に対応



## 構成部品

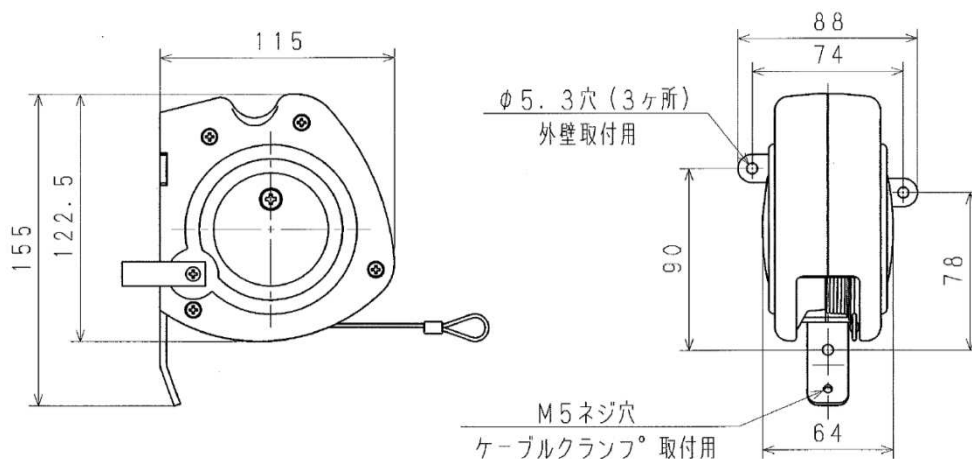
(作業に取りかかる前に構成部品の確認を必ず行ってください)



No.	部品名称	数量	
①	リール	1	
②	コーションラベル (リール包装袋に同封)	1	
付属品	③	ワイヤーガイド	4
	④	インシュロック (ガルバロックGL200)	4
	⑤	ケーブルクランプ	1
	⑥	M5x6mmトラスネジ (ケーブルクランプ④固定用)	1
	⑦	ゴムストッパー (半球状)	2
	⑧	M4x28mmトラスネジ (ゴムストッパー⑥固定用)	2
	⑨	M4ワッシャー (ゴムストッパー⑥固定用)	2
	⑩	M4ナット (ゴムストッパー⑥固定用)	2
	⑪	M4x5mmトラスネジ (安全ストッパーネジ交換用)	1
	⑫	M5x35mmトラスビス	3
	⑬	取付・取扱説明書 (本書)	1

安全ストッパーネジ(ドラム回転止めネジ=付箋が目印):施工完了後に⑪ネジと組み替えます。

## 製品概要



## 注意事項

- ・本製品は、最初の取付けの良否がその後の性能、耐久性および不具合の有無に大きく影響します。作業を始める前に、以下の注意事項をよくお読みいただき、正しい取付けを行ってください。
- ・記載事項を守らなかったために発生した不具合および、事故等については責任を負いかねます。
- ・製品の汚れは、スポンジ等に中性洗剤を付けて落としてください。シンナー等の有機溶剤、酸、アルカリ等の使用は絶対避けてください。
- ・本製品もしくは充電ケーブルの盗難については責任を負いかねます。

## 取付上の注意

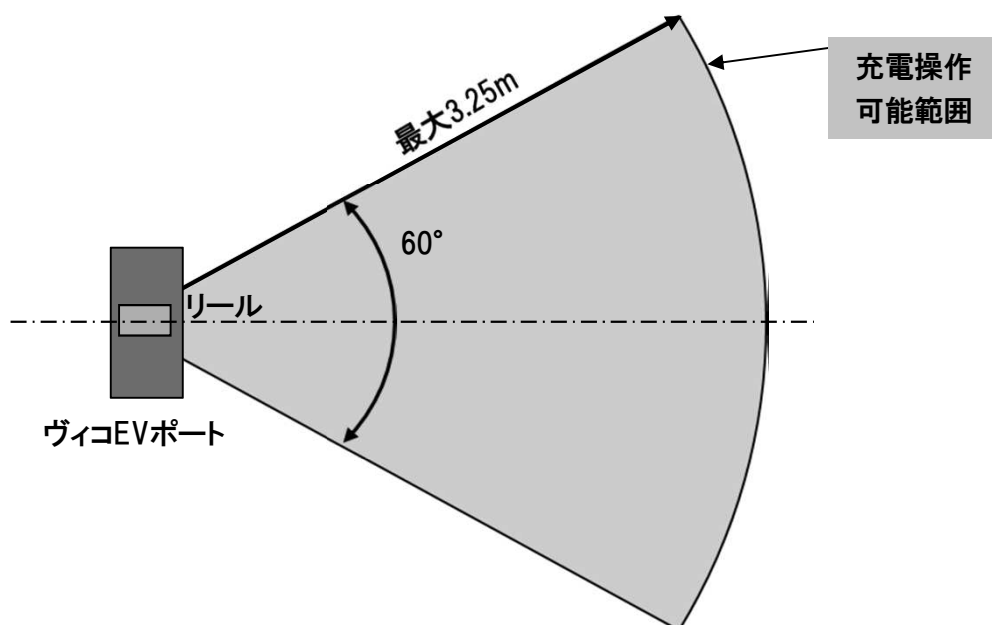
・本製品の設置は、専門の工事業者に依頼してください。その際、電設工事と併せて実施することを推奨いたします。



- 施工は、取付説明書通りに正しく安全に行ってください。  
取付説明書通りに施工しないと正常に動作しない場合があります。
- 安全ストッパーネジは施工が完了するまで絶対に取り外さないでください。  
尚、出荷時は安全ストッパーネジによってリールは回転しません。

<b>危険</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 破損や傷のついた充電ケーブルを使用しないでください。 また、充電ケーブルをコンセントに差し込んだまま施工しないでください。 感電する恐れがあります。</li> </ul>
<b>警告</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 製品の分解・改造は絶対に行わないでください。 内蔵されたぜんまいばねが飛び出すことがあります、大変危険です。</li> <li>■ 製品の上に乗ったり、もたれかかったり、荷物などを置いたり、引っ掛けたりしないでください。</li> <li>■ 可燃性ガスや引火物の近くに設置しないでください。</li> <li>■ 径φ11.0～13.0の充電ケーブルに対応します。</li> </ul>
<b>注意</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ うねりが激しい充電ケーブルは使用しないでください。 ケーブルの伸縮が適切にできない場合があります。</li> <li>■ 補修で使用するインシュロックは、11ナイロン(PA11)製のものを使用してください。 (型番:ヘラマンタイト社製ガルバロックGL200)</li> <li>■ 直射日光を避け、風通しの良い場所に設置してください。</li> <li>■ 土埃や砂などを巻き込まない場所に設置してください。</li> <li>■ 車両の往来がある場所などは、車両に充分注意して施工ください。</li> </ul>

## 設置場所 平面図



- 車両給電口の位置が充電操作可能範囲内に入るように設置してください。

## 必要工具

- ・プラスドライバー
- ・ペンチ(ラジオペンチ)
- ・インシュロック締結専用工具又はニッパ又はつめ切り
- ・メジャー
- ・マーカーペン
- ・ビニールテープ

## 取付要領・手順

### 1 リールをヴィコEVポートに取り付ける

- ・リール①をヴィコEVポート本体にM5x35mmトラスビス②3本で固定する。  
※ヴィコEVポート側には、あらかじめ取り付け用の下穴が空いています

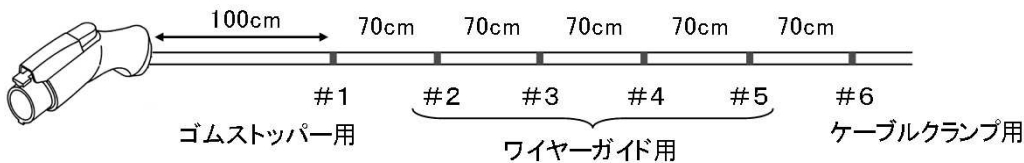


**注意**

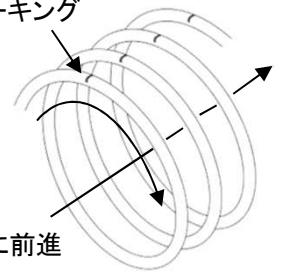
- リールは垂直に取り付けてください。

### 2 充電ケーブルにマーキングをし、カール状に巻く

- ・充電コネクタの根元から100cmの位置と、そこから70cm間隔で5ヶ所、計6ヶ所マーカーペン等でマーキングする。
- ・ここでは、マーキング位置を充電コネクタ側から順に#1～#6とします。
- ・マーキング(#1～6)が同じ位置に来るように、ケーブルのねじれをほどこしながら右巻きにカール状に巻き取る。



マーキング



右巻き:  
時計回りに前進



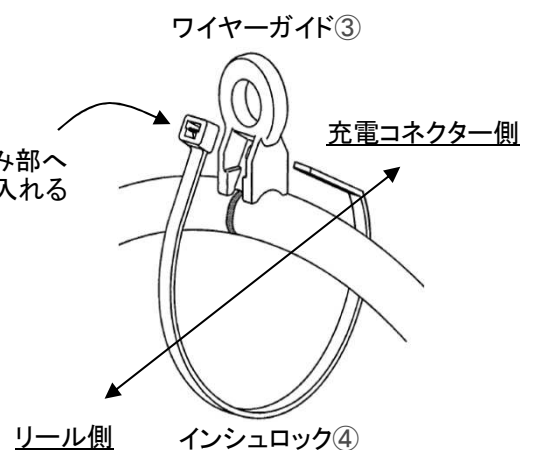
**注意**

- 右巻き(※)とは;  
時計回りに前進する巻き方を言います。

### 3 充電ケーブルにワイヤーガイドを取り付ける

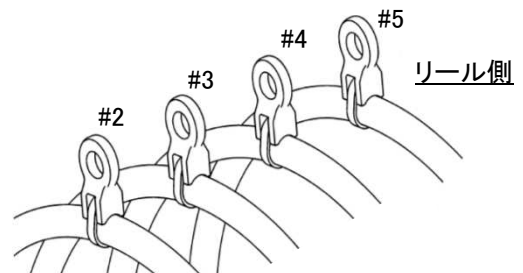
- ・ワイヤーガイド③を#2～#5までの4箇所1個ずつ充電ケーブル上に立てるように配置してインシュロック④でしっかり固定し、残ったインシュロックの帯を切り落とす。
- ・ワイヤーガイドは前後方向があるので注意。  
(ただし見栄えの違いのみで機能上の差はない)
- ・インシュロックの挿入方向には向きがあるので注意。
- ・締付・切断にはインシュロック締結専用工具が望ましいが、締付にはペンチもしくはラジオペンチを、切断にはニッパもしくはつめ切りを使用してもよい。

ワイヤーガイドの窪み部へ  
インシュロックの頭を入れる



**注意**

- インシュロックを締め付ける時は、ワイヤーガイドが回転しない状態となるまで締め付けてから余分な部分を切断してください。切断するときは充電ケーブルを傷つけないよう注意してください。
- ペンチを使用する場合は、最後にペンチをひねって1ノッチ分増し締めしてください。
- インシュロック切断時は切り残しが無いよう、根元から切断してください。
- また、切断部で怪我をしないよう注意してください。



充電コネクタ側

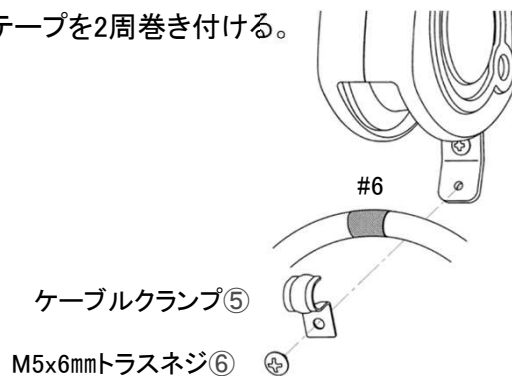
## 4 充電ケーブルをリールに取り付ける

- ・マーキング#6位置の充電ケーブル上にケーブル保護のためビニールテープを2周巻き付ける。ケーブルクランプとの隙が大きい場合は、追加で重ね巻きする。
- ・その位置をケーブルクランプ⑤を介してリール下部のブラケット部にM5x6mmトラスネジ⑥で固定する。締付トルクの目安は3.0~3.5N・m。



**警告**

- ビニールテープを所定の巻き数分は必ず巻きつけてください。ケーブル被覆が破れて感電の危険があります。



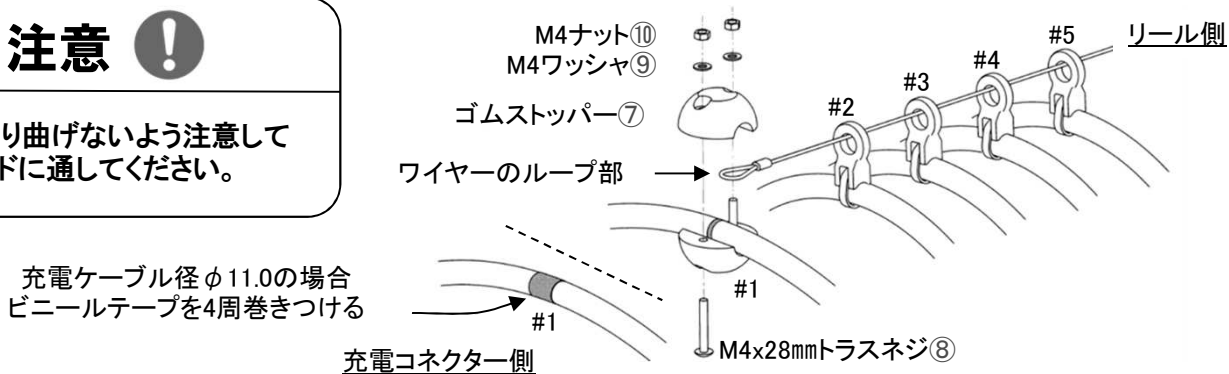
## 5 ワイヤーをワイヤーガイドに通して、ゴムストッパーに取り付ける

- ・充電ケーブルの径がφ11.0の場合は、マーキング#1位置の充電ケーブル上にビニールテープを4周重ね巻きする。充電ケーブルの径がφ12.4の場合は、ビニールテープ巻きは不要。本書の6ページに充電ケーブル径測定用の切り欠き線がありますので、ハサミで切り落としてご使用ください。
- ・ワイヤー先端のループ部をワイヤーガイドの穴に奥から手前へ#5→#4→#3→#2の順に通す。
- ・ゴムストッパー⑦にM4x28mmトラスネジ⑧2本を通し、マーキング#1の位置に配置し、リール側のネジにワイヤーループをかけてからゴムストッパーの残り半球を向い合せに被せ、M4ワッシャ⑨及びM4ナット⑩を使用してネジ締結する。



**注意**

- ワイヤーを折り曲げないように注意してワイヤーガイドに通してください。



**注意**

- 充電ケーブルをリールから外す場合(故障時・やむを得ない事情etc.)
  - ・リールをロックした状態で、リールが回転しないよう安全ストッパーネジを再組付けしてください。ネジ組付け後、リールが回転しないかワイヤーを引いて確認ください。
    - ※1: ストッパーネジの組付け箇所及び方法については、『取付要領・手順』の6項(本ページ記載)を参照ください。
    - ※2: ストッパーネジが無い場合、M4×10mmのなべ又はトラス頭のネジを用意いただき代用ください。
  - ・充電ケーブルに取付けたゴムストッパー及びケーブルクランプのネジを外すことで、リールから充電ケーブルを取り外すことができます。

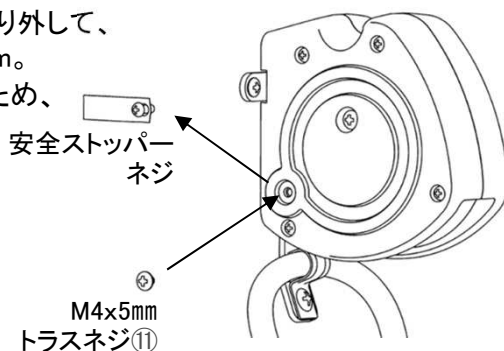
## 6 安全ストッパーネジを組み換える

- ・リール側面の安全ストッパーネジ(付箋が付いたM4x10mmなべ小ネジ)を取り外して、代わりにM4x5mmトラスネジ⑪で固定する。締付トルクの目安は1.1~1.3N・m。
- ・この時、リールのロックが解除されるとリールが勢いよく巻き戻って危険なため、ワイヤーもしくはゴムストッパーをしっかりと保持しながら作業してください。



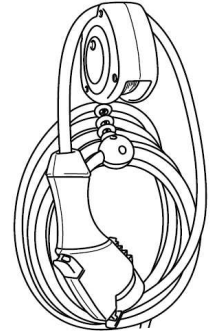
**注意**

- 施工が完了するまでは、ドラムが回転しないようストッパーネジを緩めないでください。ネジが緩み更にロックが外れると、ワイヤーがドラム内に勢いよく入り込みリールが破損します。



# 7 充電コネクタを保持する

- ・ワイヤーを少し引いてリールのロックを解除し、充電ケーブルをリール側へ巻き取る。
- ・充電コネクタ根元のケーブルをリール上部の溝にかけて保持し、施工完了。

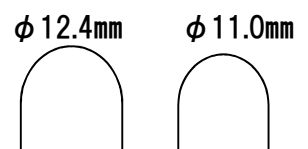


 <b>注意</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 充電ケーブルを強く引っ張ったり、ねじったり、無理な力を加えたり、しないでください。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 充電ケーブルの余った部分は、<math>\phi 200\text{mm}</math>以上の径で巻いてください。小さく巻きつけると発熱して危険な場合があります。</li> </ul>

## 使用上の注意

 <b>危険</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 台風などの強風、大雨時には充電操作をしないでください。感電する恐れがあります。</li> </ul>
 <b>警告</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ワイヤーガイドの穴に指を入れないでください。怪我や骨折など危険です。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 幼児や子供には絶対に触らせないでください。怪我をする恐れがあります。</li> <li>■ 充電ケーブル、ワイヤーを必要以上の力で引き出さないでください。特にワイヤーをいっぱい引き出した状態ではそれ以上引かないでください。</li> <li>■ ワイヤーのみを引っ張って放さないでください。故障の原因になります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 充電コネクタを持ったまま後退りしないでください。転倒すると大変危険です。</li> <li>■ 充電ケーブル及びワイヤーを引っ張った状態で、もたれかからないでください。充電ケーブルやワイヤーが抜けると転倒する危険があります。</li> <li>■ 充電ケーブルを無理に曲げたり、充電コネクタを落としたりしないでください。また、充電ケーブルやワイヤーを踏みつけしないでください。</li> <li>■ 充電時、通行の妨げになることがあります。特に、夜間など周辺が暗い場合は、転倒しないよう、足元など注意してください。</li> <li>■ ワイヤー(リール)をロックした状態で充電を行ってください。また、充電ケーブルは長さに余裕を持たせて給電口に接続してください。その際、駐車位置や引き出し量によっては、ケーブルが地面に接触することがあります。</li> <li>■ 雨の日は充電コネクタの電極部(先端内側)が濡れないように注意して操作してください。また、使用後はきちんとキャップをはめて収納してください。</li> </ul>
 <b>注意</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 操作する際は、充電コネクタを持ってゆっくりと引き出し・収納してください。充電ケーブルを振り回したり、充電ケーブルだけを持って操作しないでください。断線など故障する可能性があります。</li> <li>■ リール本体に衝撃を与えないでください。ワイヤー(リール)のロックが外れてワイヤーが勢いよく引き込まれる危険があります。</li> <li>■ <math>-10^{\circ}\text{C} \sim 40^{\circ}\text{C}</math>以外の環境下では充電操作をしないでください。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 充電ケーブル及びワイヤーの引き出しは規定の操作可能範囲内でご使用ください。操作可能範囲を超えると、故障する可能性があります。</li> <li>■ 充電中のケーブル及びワイヤーにひっかかったり、つまづいて転倒しないよう注意してください。</li> <li>■ ゴムストッパーのネジ部、ワイヤーやワイヤーかしめ部で手や指を怪我しないよう注意してください。また、車両ボディに当たらないよう注意してください。</li> <li>■ 充電ケーブルがねじれたら、ねじれをとってから収納してください。</li> <li>■ 充電ケーブルが低温や凍結で硬化している場合は、<math>40^{\circ}\text{C}</math>程度のお湯で温めて解凍してから使用して下さい。その際、電極部にはかからないようにしてください。火災・感電や故障の原因となります。</li> <li>■ 夏場など直射日光が当たる場所でご使用される場合、充電ケーブルなどの温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。</li> </ul>

充電ケーブル径測定用切り欠き

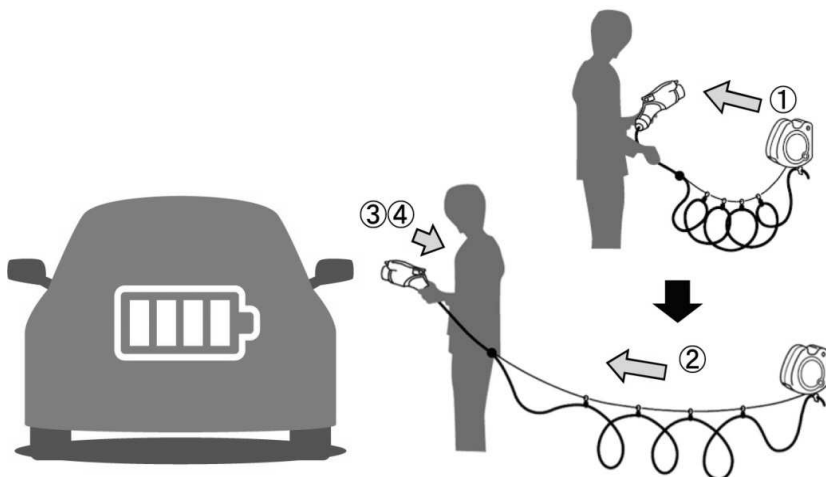


## 1 充電ケーブルを引き出す

- ① 充電コネクタを持って、
- ② 充電ケーブルを引き出す。
- ③ 引き出しを止めると、
- ④ 少し巻き戻ってリールがロックする(カチッ)。

**ポイント!**

車両給電口より少し先まで引くと、リールロックの際に少し巻き戻ってちょうど良い長さになります。

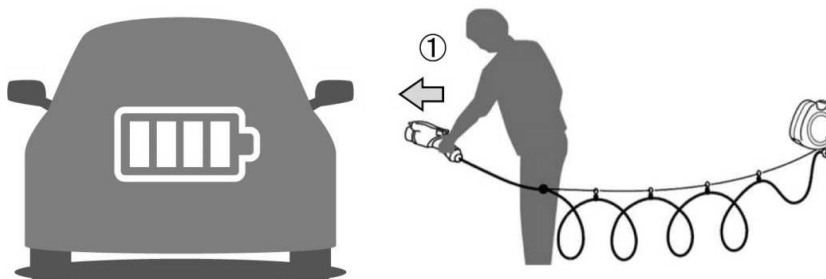


## 2 充電する

- ① 充電コネクタを車両給電口に差し込み、充電を開始する。

**ポイント!**

リールロックにより巻き取り力がかからなくなりますので、ケーブルの損傷を防ぎます。

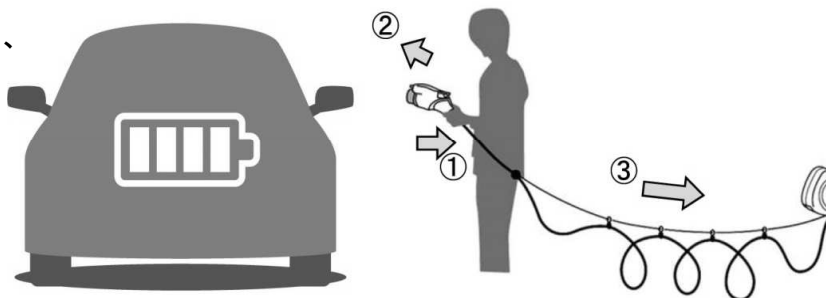


## 3 充電ケーブルを巻き戻す

- ① 車両給電口から充電コネクタを抜いて、
- ② 少し引っ張るとリールロックが解除され(カチッ)、
- ③ ワイヤーとともに自動で巻き戻る。

**ポイント!**

リールに引かれるように歩いて戻ります。少しケーブルを持ち上げながら戻すときれいに納まりやすくなります。ゴムキャップを忘れずに被せてください。

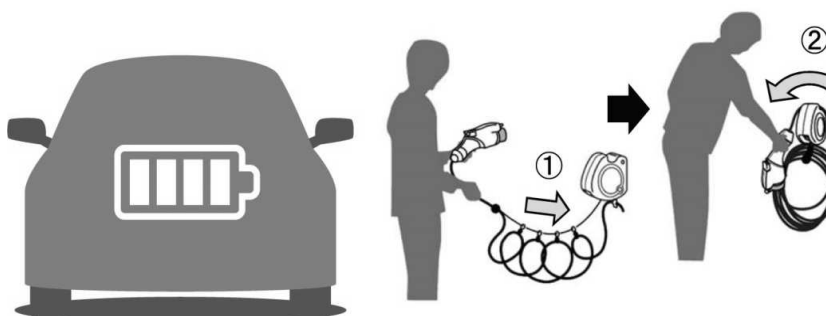


## 4 充電コネクタを収納する






- ① 充電ケーブルがリールまで巻き戻ったら、
- ② 充電コネクタ根元のケーブルをリール上部の溝にかけて収納する。

**ポイント!**

ポンッと置くだけです。きれいに巻き戻らなかった時は、軽く手を添えて整列させてください。



## お手入れ・点検時の注意事項

 <b>警告</b>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>■製品に水や有機溶剤、家庭用洗剤などを直接かけて清掃しないでください。</li> <li>■高圧洗浄機は使用しないでください。 故障の原因になります。</li> <li>■リール開口部から工具や細い金属棒などを差し込まないでください。 故障の原因になります。</li> <li>■ゴムストッパーのネジを外さないでください。 故障の原因(リール機能の損失)につながります。</li> </ul>
	 <ul style="list-style-type: none"> <li>■充電コネクタや充電ケーブルに割れや欠けなど異常が発生した場合は、ただちに使用を中止して販売店に連絡してください。</li> </ul>
 <b>注意</b>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>■積雪時は適宜除雪してください。</li> <li>■ワイヤーの折れ曲がり、ワイヤーガイドやワイヤーの著しい磨耗などがないか確認して下さい。</li> <li>■ゴムストッパーやリール取付ブラケットなどのネジが緩んでいないか確認してください。緩んでいたら適宜増し締めしてください。</li> <li>■ケースなど、乾いたきれいな柔らかい布でからぶきしてください。 なお、汚れがひどい場合は、布やスポンジに中性洗剤を含ませてから汚れをふき取った後、乾いたきれいな柔らかい布でからぶきしてください。</li> <li>■動物などの糞尿が付着した場合は、中性洗剤で汚れを落とした後、乾いたきれいな布でからぶきしてください。</li> </ul>

## 注意

- 充電ケーブルをリールから外す場合(故障時・やむを得ない事情etc.)
  - ・リールをロックした状態で、リールが回転しないよう安全ストッパーネジを再組付けしてください。  
ネジ組付け後、リールが回転しないかワイヤーを引いて確認ください。  
※1: ストッパーネジの組付け箇所及び方法については、『取付要領・手順』の6項を参照ください。  
※2: ストッパーネジが無い場合、M4×10mmのなべ又はトラス頭のネジを用意いただき代用ください。
  - ・充電ケーブルに取付けたゴムストッパー及びケーブルクランプのネジを外すことで、リールから充電ケーブルを取り外すことができます。

## 製品仕様

	項目	仕様
製品概要	外形寸法(リール部)	長さ122.5×幅64×奥行き115mm
	製品重量(リール部)	690g
環境	設置環境	屋内及び屋外
	使用環境温度	-10℃～40℃(氷結なきこと)
機能	ワイヤー引き出し長さ	～2.5m
	充電ケーブル引出し操作力	～25N(気温25℃の場合)

## MEMO

この取付・取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

01042301

●販売元  
株式会社ユニソン  
愛知県豊田市駒場町藤池17番1  
HPアドレス <https://www.unison-net.com>

●製造元  
中央発條株式会社  
愛知県名古屋市長区字上汐田68番地  
HPアドレス <https://www.chkk.co.jp>